



# 第81回東京インターナショナル ギフト・ショー春2016に出展 「ルミリーフ」 宮城発の輝く贈り物



葉に文字や模様を刻むという斬新なアイデアが見る人の心をつかむ

2016年2月3日～5日、東京ビッグサイトで「第81回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2016」が開催された。仙台市に本社がある東北電子産業（株）はその会場内の中小企業総合展 in Gift Show 部門に昨年に引き続き「ルミリーフ」を展示。3日間を通して約850人以上が訪れ、そのアイデアと技術に興味を持った。

## ギフトショーで好感

東京インターナショナル・ギフト・ショーは、流通業者対象のトレードショー。中小企業総合展では、日本全国から厳正な審査によって選ばれた約100社の中小企業が、製造・開発した新製品等を展示した。

東北電子産業は昨年に引き続き「ルミリーフ」を出品した。ルミリーフとは、植物の葉に特殊なレーザーで文字や模様を刻み、蛍

光剤を流し入れ、付属のライトからブラックライトで輝かせたアイテムだ。

昨年は開発したばかりのルミリーフをそのまま並べた状態だったが、今回はライトダウンしつつ、ブラス内を上品さと高級感を意識したデザインにした。花の温度管理も万全にし、レーザーによりダメージを受けていないことを、はっきりと打ち出した。

ブースを訪れる人々は、一般消費者ではなく、時代の空気に敏感な目の肥えたバイヤーたちだ。「アイデアがいいですね」「レーザーからよく思いつきましたね」とクリエイティブティの面を評価されることも多かった。特に男性はメカニズムに興味を持ったようだった。

3日間で約850人にパンフレットを配布。多くの人々から良い反応を得た。東北電子産業株式会社代表取締役社長の山田理恵氏は

花の種類は様々なものから  
選ぶことができる



「今までやってきたことは間違いではなかったと思えました」と微笑んだ。

## 楽しみながら開発

東北電子産業は、「光と電子の未来を拓く」をモットーに企業展開してきた。研究開発で培ってきた技術を駆使し、デジタル・ア

ナログ・ソフトウェア・機構・光応用などの技術を有機的に結合させ、新製品開発や受注製品設計など様々なニーズに対応。世界最高レベルの高感度発光計測装置「ケミルネッセンサアライザー」の製造開発では数々の賞を受賞し、海外にも市場を広げている。

かつては企業向け事業が主体だったため、ルミリーフは、初の個人向けアイテムだ。「どうしたら皆さんが喜んでくださるか想像しながら楽しく開発しました」と山田社長は語る。レーザーの種類やパワー、植物との相性など様々な条件を検討してメカニズムを確立。植物は色や大きさを選択できる胡蝶蘭と、ゴムの木を準備した。

葉に刻むことができるのは「Thank You!」「おめでとう!」などの定型文や8文字程度の自由なメッセージ。希望すれば、もう一枚の葉に送り主の名前を入れることができる。

さらに文字や模様の色を、イエロー・ピンク・ホワイト・2〜3色を配色する「お任せ」から選べるようにした。ライトも2種類ある。一つは電池式で飾る場所を選ばない点灯セット。もう一つはACアダプター式



の点滅セット。ライトコントロールで、8種類の点滅と10段階の速さを調節できるので、店舗のディスプレイなどに適している。

## 宮城発という付加価値

山田社長は「今後はこの会社しかない技術を、どう展開していくかを考えていきたいですね。刻む模様のバリエーションも増やしたいと思っています」と抱負を語った。

一方で「この地から発信していることを大事にしたい」とも。流通のことを考慮すると、東京で行うよりも若干リスクが高くなる。しかし、あえて宮城の贈り物という付加価値を企業として守ってい

く方針だ。

ルミリーフを開発してから一年以上経った現在、お祝いの品として贈る人々も増えてきている。メディアへの露出も多くなってきた。確実に社会に認められてきていることを、開発者たちは実感している。これからは卒業式やホワイトデー、入学式などイベントや祝い事が多くなるシーズンだ。思い出を深めるプレゼントとして、ルミリーフを贈ってみてはいかがだろうか。

お申込み・お問い合わせ

## 東北電子産業株式会社

〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山2丁目14-1

お問い合わせはコチラ

TEL: 022-266-1611 Mail: sales@tei-c.com

ご注文はホームページから

<http://www.tei-c.com>

ルミリーフ

検索

展示会の様子。ブース全体を暗めの色にして、光がよく見えるようにした

